

交付運用報告書

損保ジャパンSRIオープン <愛称> 未来のちから

追加型投信／国内／株式

作成対象期間：2016年12月9日～2017年12月8日

第13期 決算日：2017年12月8日


受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、日本の株式を主要投資対象とし、「企業の社会的責任」に着目すること、および相対的に割安と評価される銘柄に投資することにより、ベンチマークである東証株価指数（TOPIX）を中長期的に上回る運用成果を目指します。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

▶ 運用報告書（全体版）の閲覧方法


<http://www.sjnk-am.co.jp/>

にアクセス

「ファンド検索」等から当ファンドのページを表示して、閲覧またはダウンロードすることができます。



損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル
 お問い合わせ先：クライアントサービス第二部

（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）

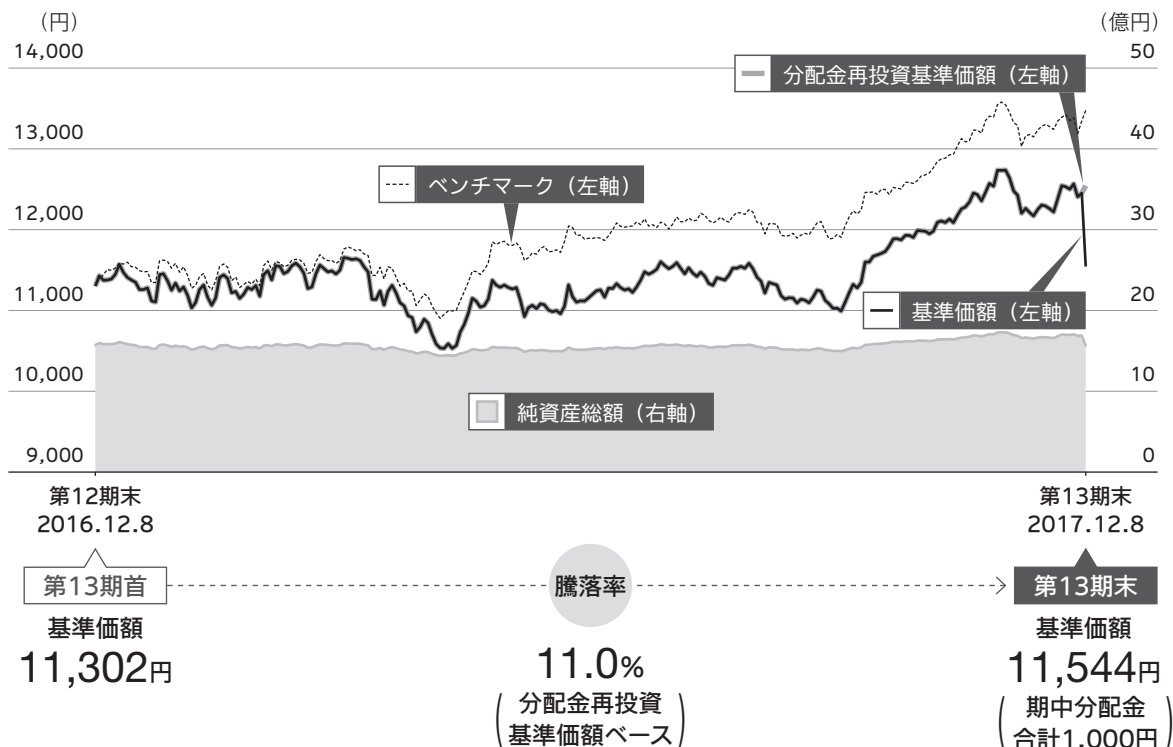

0120-69-5432

第13期末 2017.12.8	
基準価額	11,544円
純資産総額	1,567百万円
騰落率※	11.0%
期中分配金合計	1,000円

※ 騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

運用経過

● 基準価額の推移



- 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（TOPIX（東証株価指数））の推移は、2016年12月8日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

● 基準価額の主な変動要因

損保ジャパンSRIオープン

高位に組入れていたマザーファンドの基準価額が上昇したため、当ファンドの分配金再投資基準価額が上昇しました。

損保ジャパンSRIマザーファンド

期中の騰落率は+12.9%となりました。

国内株式市場が上昇したため、期を通して株式を高位に組入れていたマザーファンドの基準価額も上昇しました。個別銘柄では、デンソー、日立製作所、ツムラ、日本電信電話、第一生命ホールディングス、大林組などがプラスに寄与しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記のように統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 1万口当たりの費用明細

期中の総費用率は **1.703%** です。

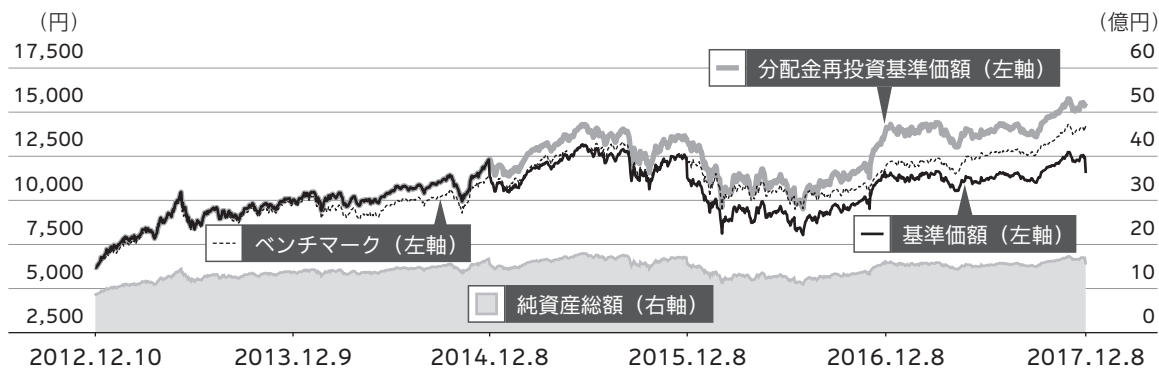
項目	第13期 2016.12.9~2017.12.8		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	186円	1.620%	(a)信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率(年率)× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は11,467円です。
(投信会社)	(87)	(0.756)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(87)	(0.756)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(12)	(0.108)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	9	0.080	(b)売買委託手数料= $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(9)	(0.080)	
(c) その他費用	0	0.003	(c)その他費用= $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(監査費用)	(0)	(0.003)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	195	1.703	

注1. 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

● 最近5年間の基準価額等の推移 2012.12.10~2017.12.8



- 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（TOPIX（東証株価指数））の推移は、2012年12月10日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

決算日		2012.12.10 決算日	2013.12.9 決算日	2014.12.8 決算日	2015.12.8 決算日	2016.12.8 決算日	2017.12.8 決算日
基準価額	(円)	6,212	10,037	11,334	11,278	11,302	11,544
期中分配金合計（税引前）	(円)	—	0	1,000	1,000	500	1,000
分配金再投資 基準価額騰落率	(%)	—	61.6	22.9	8.3	4.6	11.0
ベンチマーク騰落率	(%)	—	59.2	15.3	8.4	△ 3.6	19.2
純資産総額	(百万円)	866	1,377	1,546	1,560	1,573	1,567

- ベンチマークは、TOPIX（東証株価指数）です。

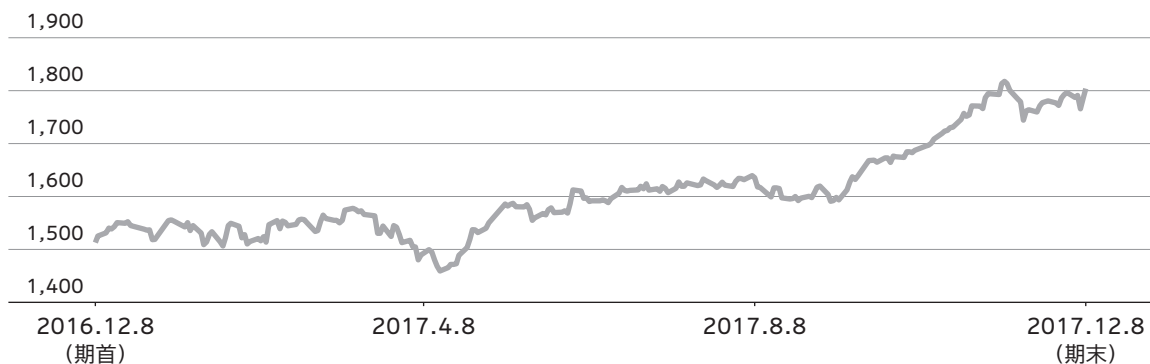
指数に関する詳細は15ページをご参照ください。▶

● 投資環境

TOPIXは19.2%の上昇となりました。

期初はトランプ政権による財政支出拡大や減税に対する見方が交錯してもみ合う展開となり、期待が後退して株価が下落する場面も見られましたが、米政府高官による大型減税やインフラ投資への言及を好感して反発しました。6月にはFRB(米連邦準備理事会)が今年2回目の利上げを行うなど、良好な米経済を背景に米国の主要株式指数が過去最高値の更新を続ける中で、国内株式市場も緩やかな上昇を続けました。その後、北朝鮮のミサイル発射による地政学リスクの高まりから調整局面を迎えましたが、好調な国内企業業績や良好な海外経済を背景に株価は上昇基調を維持しました。期末にかけて、株価の過熱感やトランプ政権のロシア疑惑などから一時的に売りが優勢となりましたが、反発し、年初来高値圏で推移して当期を終えました。

TOPIX（東証株価指数）の推移



(出所：Bloomberg)

● 当該投資信託のポートフォリオ

期を通して損保ジャパンSRIマザーファンドの組入比率を高位に維持しました。期末の組入比率(対純資産総額比)は、99.0%です。

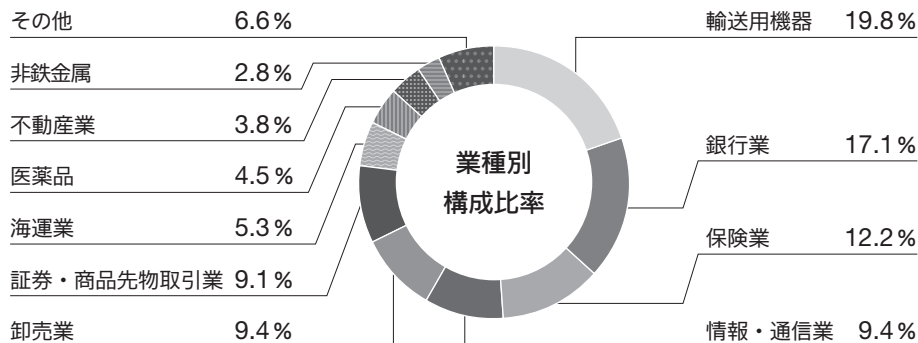
損保ジャパンSRIマザーファンド

期を通して株式の組入比率を高位に維持しました。期末の組入比率は、98.1%です。

期末時点での業種別構成比率はグラフのとおりです。

当期間中に独自の調査分析に基づく割安度にしたがって銘柄入れ替えを行いました。

主な購入(ウェイトアップ)銘柄は、大和証券グループ本社、三菱地所、KDDIなど、主な売却(ウェイトダウン)銘柄は、大林組、グンゼ、日立製作所などです。

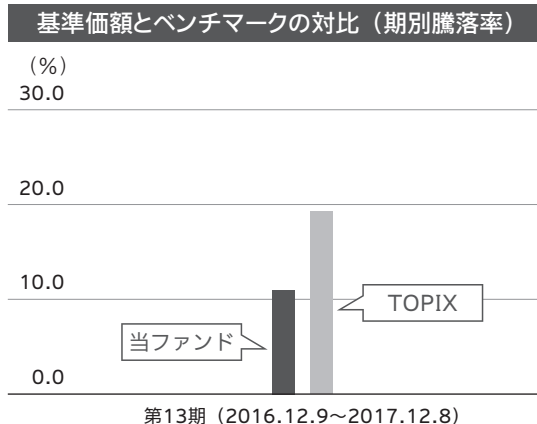


注1. 比率は、第13期末における国内株式の評価総額に対する各業種の評価額の割合。

注2. 端数処理の関係上、構成比合計が100%とならない場合があります。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドの騰落率（分配金再投資基準価額ベース）は、ベンチマーク（TOPIX）の騰落率（+19.2%）を8.3%下回りました。当ファンドは期を通じて「損保ジャパンSRIマザーファンド」を高位に組み入れておりましたので、以下ではマザーファンドとベンチマークとの差異についてご説明します。



損保ジャパンSRIマザーファンドとベンチマークとの差異

マザーファンドの騰落率は、TOPIX（配当込み）の騰落率（+21.8%）を8.9%下回りました。

ベンチマークとの差異を要因分析しますと、業種要因は、陸運業、不動産業、電気・ガス業のアンダーウェイトなどがプラス要因、銀行業のオーバーウェイト、電気機器、化学のアンダーウェイトなどがマイナス要因となりました。個別銘柄要因では、ツムラ、デンソー、第一生命ホールディングスのオーバーウェイトなどがプラス要因、マツダ、三井物産、KDDIのオーバーウェイトなどがマイナス要因となりました。

● 分配金

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、1万口当たり1,000円の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳 (単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第13期 2016.12.9~2017.12.8
当期分配金 (対基準価額比率)	1,000 7.97%
当期の収益	1,000
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,912

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

決算期におけるファンドの運用成果[※]をもとに、分配を行うことを目指すファンドです。

※ 運用成果には、インカム収入とキャピタルゲイン・ロスの両方を考慮します。

インカム収入とは株式の配当収入等、キャピタルゲイン・ロスとは値上がり益・値下がり損をいいます。

・ファンドに蓄積された過去の運用成果（分配原資）を加味する場合があります。

● 今後の運用方針



損保ジャパンSRIオープン

今後もマザーファンド受益証券の組入水準を高位に維持することで、信託財産の中長期的に着実な成長を目指します。





損保ジャパンSRIマザーファンド

今後も「CSR（企業の社会的責任）」に先進的に取り組んでいる企業の中から、当社独自の投資価値分析に基づき相対的に割安度の高い銘柄へ投資することで、リスクを軽減しつつ信託財産の中長期的に着実な成長と安定した収益の確保を目指します。

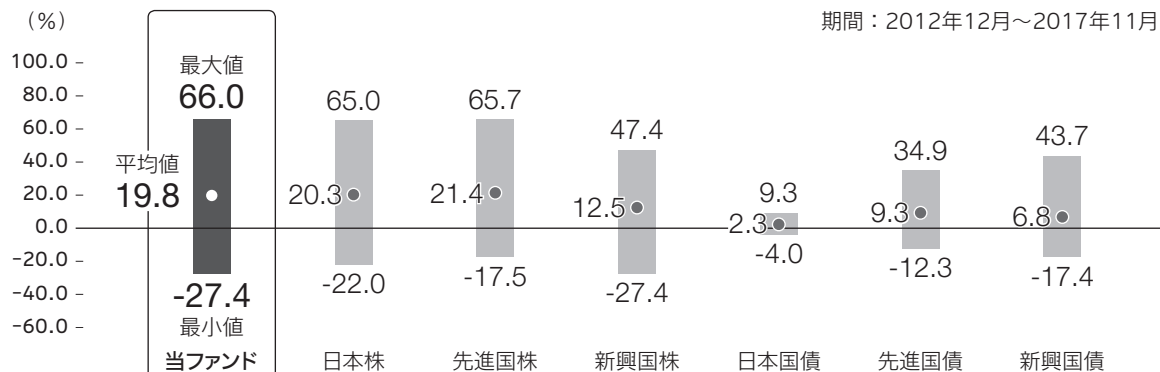
● お知らせ

信用リスク集中回避のための投資制限に関する記載を追加するため、投資信託約款に所要の変更を行いました（2017年9月1日）。

● 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／国内／株式
信託期間	無期限
運用方針	信託財産の中長期的に着実な成長を図ることを目的に、積極的な運用を行います。
主要投資対象	 損保ジャパンSRIオープン 損保ジャパンSRIマザーファンド受益証券  損保ジャパンSRIマザーファンド わが国の株式
運用方法	① 日本の株式に投資します。 東証株価指数（TOPIX）をベンチマークとし、中期的にこれを上回る運用成果を目指します。 ② 企業の社会的責任に着目します。 ③ 相対的に割安と評価される銘柄に投資します。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ① 分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。 ② 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

● 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)
日本国債	NOMURA-BPI国債
先進国債	シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

※ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- 当ファンドについては、分配金 (税引前) 再投資基準価額の騰落率です。
- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

指数に関する詳細は15～16ページをご参照ください。

当該投資信託のデータ

● 当該投資信託の組入資産の内容

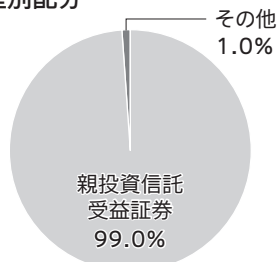
※ 全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

組入ファンド

	第13期末 2017.12.8
損保ジャパンSRIマザーファンド	99.0%

注. 比率は第13期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

資産別配分



国別配分



通貨別配分



注. 比率は第13期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

● 純資産等

項目	第13期末 2017.12.8
純資産総額	1,567,131,205円
受益権総口数	1,357,485,073口
1万口当たり基準価額	11,544円

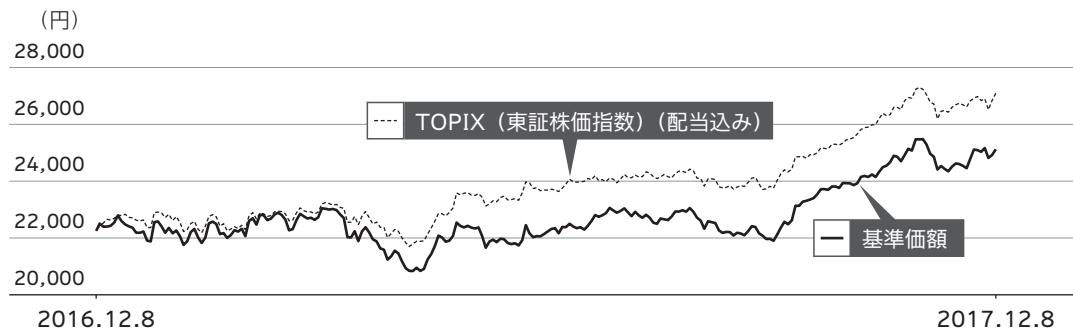
※ 当期中における追加設定元本額は44,193,153円、同解約元本額は78,795,921円です。

● 組入上位ファンドの概要

※ 組入ファンドの計算期間の詳細な運用経過および全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

損保ジャパンSRIマザーファンド

基準価額の推移



- ベンチマーク（TOPIX（東証株価指数）（配当込み））の推移は、2016年12月8日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

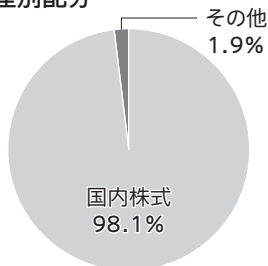
1万口当たりの費用明細

項目	2016.12.9~2017.12.8
売買委託手数料	18円
(株式)	(18)
その他費用	0
(その他)	(0)
合計	18

組入上位10銘柄

銘柄名	業種	比率
1 第一生命ホールディングス	保険業	5.3%
2 日本郵船	海運業	5.2%
3 日本電信電話	情報・通信業	4.9%
4 デンソー	輸送用機器	4.9%
5 三菱商事	卸売業	4.8%
6 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	4.7%
7 トヨタ自動車	輸送用機器	4.7%
8 野村ホールディングス	証券・商品先物取引業	4.6%
9 ツムラ	医薬品	4.4%
10 大和証券グループ本社	証券・商品先物取引業	4.4%
組入銘柄数		27銘柄

資産別配分



国別配分



通貨別配分



注1. 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については3ページ（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2017年12月8日）現在のものです。

注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

● 指数に関して

当ファンドのベンチマークである「東証株価指数（TOPIX）」について

東京証券取引所第一部上場全銘柄の基準時（1968年1月4日終値）の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したものです。東証株価指数（TOPIX）は、東京証券取引所の知的財産であり、東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

■ 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東京証券取引所第一部上場全銘柄の基準時（1968年1月4日終値）の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したものです。東証株価指数（TOPIX）は、東京証券取引所の知的財産であり、東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

■ MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界主要国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成した株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

■ MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）は、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が独自に計算したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

■ NOMURA-BPI国債

野村証券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。NOMURA-BPIに関する一切の知的財産権その他一切の権利は、すべて野村証券株式会社に帰属します。野村証券株式会社は、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

■ シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はCitigroup Index LLCに帰属します。また、Citigroup Index LLCは同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

■ JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

J.P. Morgan Securities LLCが算出し公表している指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。同指数の著作権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

ホームページにて当ファンドの詳細をご案内しております。

損保ジャパンSRIオープン

検索

<http://www.sjnk-am.co.jp/fund/0893/price.html>

The screenshot shows the SOMPO website interface. At the top, there is a navigation bar with 'HOME', 'ファンド情報', 'マーケット・ファンドレポート', '当社の資産運用', and '会社情報'. The main content area is titled '損保ジャパンSRIオープン (愛称 未来のちから)' and includes a table of documents:

交	交付目論見書 (2017.09.07)	運	交付運用報告書 (2016.12.08)
請	請求目論見書 (2017.09.07)	運全	運用報告書(全体版) (2016.12.08)
		月	最新月次レポート (2017.10.31)

Below the table, it says '最新月次レポート (2017.10.31)' and '● 交付運用報告書・運用報告書(全体版) パックナンバー'.

各書類の最新版をご確認いただけます。

交

交付目論見書

当ファンド購入に際して投資判断に必要な重要事項をご説明しております。

運交

交付運用報告書

当ファンドの運用状況について重要な事項をご説明しております。

請

請求目論見書

交付目論見書より詳細な当ファンドの情報をご説明しております。

運全

運用報告書(全体版)

交付運用報告書より詳細な運用状況をご説明しております。

月

最新月次レポート

当ファンドの運用状況を月次でご説明しております。

本報告書作成時点のものを掲載しております。